

KSGP17169

山崎 真人
Masato Yamasaki



芝浦工業大学大学院
理工学研究科
建設工学専攻

「開蔵 -kai zo-」 [埼玉県川越市元町一番街]

歴史的資産を持つ場所の観光地化は、住民のナショナルな側面と商業主義のグローバルな側面の2層構造が同時に進行する。歴史的資産をどのように活かすか、常に考えることが何よりも大切である。川越が持つ平面的な都市構造を利用した道に人々を巻き込む会議所を設計する。



KSGP17175

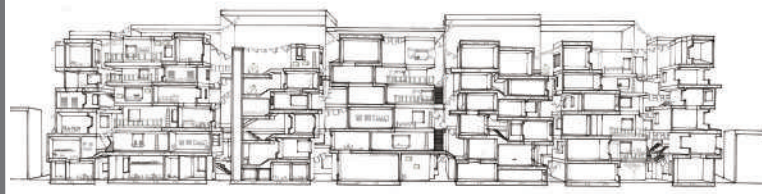
櫻井 翔太
Syota Sakurai



日本大学大学院
工学研究科
建築学専攻

「余剰の集積」

[東京都月島]



月島の余白空間には振る舞いが記憶されており、それらを抽出しモデル化して再構築していく。

KSGP17183

門脇 悠
Yu Kadowaki



東北学院大学大学院
工学研究科
環境建設工学専攻

「歴史の引き出し

ーキャンパス移転に伴う市街地空洞化に関する提案ー」 [宮城県多賀城市]

歴史は地面の下に積層されるものと定義し、その歴史を板として引き出して建築に変換した空間を考える。日本三大史跡の一つを有する宮城県多賀城市に、地下からの引き出しをサインとする広場と遊歩道を計画し、多くの埋蔵文化財の上で暮らしていることを可視化・再定義した歴史的まちづくりを提案する。



共同提案者 伊藤翼 Tsubasa Ito 東北学院大学工学部環境建設工学科

「街を編むー塀でたぐるコミュニティの再構築ー」 [長野県須坂市]



歴史的観光地である須坂市。製糸産業の低迷からかつての賑わいが薄れてしまったこの街は蔵や塀などの古い町並みが残り人々の関係が疎遠になってしまった。そこで須坂を構成する「塀」に注目し、街を編むように伸ばしていくことでこの街の情緒溢れる景観を守りながら、コミュニティを再編する。

KSGP17184

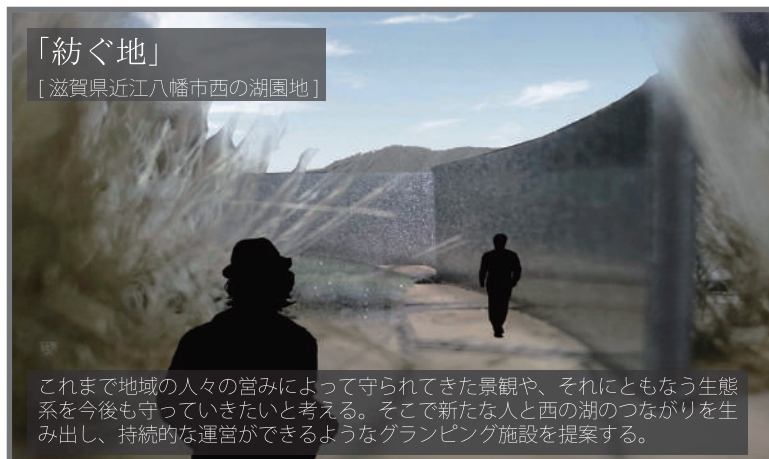
齋藤 裕
Yutaka Saito



信州大学
工学部
建築学科

「紡ぐ地」

[滋賀県近江八幡市西の湖園地]



これまで地域の人々の営みによって守られてきた景観や、それにとまう生態系を今後も守っていきたいと考える。そこで新たな人と西の湖のつながりを生み出し、持続的な運営ができるようなグランピング施設を提案する。

KSGP17185

田中 勇気
Yuki Tanaka



立命館大学
理工学部
建築都市デザイン学科

「水防共同体の再考ー水への畏怖、水の恩恵ー」

[岐阜県安八郡輪之内町]



共同提案者

河合里奈 Rina Kawai 名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学系
竹内翔平 Syohei Takeuchi 名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻建築学系

輪中地域では、かつて「水防共同体」と呼ばれる水害に対する地域コミュニティが存在した。この地域の特徴である「水屋」は水害時の避難場所や貯蔵庫として機能していた。備蓄を屋根裏空間に集約し、石垣を掘り込むことで、日常空間へと転換を図り、「水防共同体」を再考する。

KSGP17191

小島 悠暉
Yuki Kojima



名古屋大学大学院
環境学研究科
都市環境学専攻建築学系

KSGP17197

宮内 智也
Tomoya Miyauchi



工学院大学大学院
工学研究科
建築学専攻

「転設ユニット — 呼応する伝統構法」

—木造密集地の まち 性—歴史性を継承する更新の提案」
〔東京都世田谷区太子堂3丁目〕



凄まじい速さで新陳代謝される都市に歴史性は残ってない。更新されない木造密集地は歴史性を残している。街並みや風景など = 歴史を壊さず、徐々に更新する手法の模索だ。第1に " 転設ユニット " を用いた小規模な機能更新の提案。第2にそれを皮切りにして既存建築の減築、高い更新性のある伝統軸組構法を建築する。

KSGP17199

小林 琢
Taku Kobayashi



新潟大学大学院
自然科学研究科
環境科学専攻
社会基礎・建築学コース

「ほどかれる防火建築帯」

〔秋田県大館市大町商店街〕



計画敷地は秋田県大館市の中心市街地である大町商店街。総間口延長 893m の「防火建築帯」が造成された歴史を持つ。秋田県は消滅可能性都市が多く存在し、対象敷地も例外ではなく、衰退が進んでいる。本提案では衰退する街をほどいていくことで、地方都市の在り方を考える。衰退していく「地方都市の未来」を創造する。

KSGP17201

開原 航平
Kohei Kaihara



北九州市立大学大学院
国際環境工学研究科
環境工学専攻

「水辺の再編」

〔福岡県北九州市八幡西区折尾〕

折尾駅周辺は、堀川運河の拠点として発展してきた。八幡製鉄所への石炭の運搬で使用された堀川は、毎日多くの舟が往来する新規性の高い空間であった。現在では、度重なる洪水等により高い護岸が築かれ、人と水との関係は変化してしまった。本提案では都市の水の処理を考え、失われた親水空間を再構築し、折尾の歴史的空間の新しい形を提案する。



「リパイピング・シティー」〔東京都神田〕

共同提案者

井上岳 Gaku Inoue 慶應義塾大学大学院理工学研究科開放環境科学専攻
宮武壮太郎 Sotaro Miyatake 慶應義塾大学大学院理工学研究科開放環境科学専攻

歴史的な建物が残るも、設備の老朽化により再開発の危機にある東京・神田を対象に、老朽化した配管を公共空間に作り変えること (= リパイピング) で歴史的な街並みを保存しつつ新しいパブリックスペースを獲得する提案。配管は植物やミスト、照明と合わせ、人々と設備の間に新しい関係性を作り出す。



KSGP17204

小林 大介
Daisuke Kobayashi



慶應義塾大学大学院
理工学研究科
開放環境科学専攻
空間・環境デザイン工学専修

「海の稜に住む」

〔宮城県牡鹿郡女川町横浦〕

—集落跡地を活用した漁業主導型居住地復興計画の提案—

共同提案者
海老原利加 Rika Ebihara 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻
橋富一博 Kazuhiro Hashitomi 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻
山本正太郎 Shotaro Yamamoto 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻
成潜魏 Sengi Sei 東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻



本提案では、東日本大震災で被災したリアス式漁村集落を対象として、従前の高台移転によらない集落への継続居住方法を提案している。ライフライン内蔵型の通路型デッキの建設を核として旧来の集落構造を復元しつつ津波への耐性を獲得し、歴史性と防災性を兼ね備えた新たな漁村の空間像を提示する。

KSGP17212

植竹 悠歩
Yuho Uetake



東京大学大学院
工学系研究科
建築学専攻